

製品名: SETD7 (8Y15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17778**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:50-1:200
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	SETD7
別名	Histone H3-K4 methyltransferase SETD7; Lysine N-methyltransferase 7; SET domain-containing protein 7; SET7;SET9;
遺伝子 ID	80854.0
SwissProt ID	Q8WTS6
免疫原	ヒト SET7 の合成ペプチド

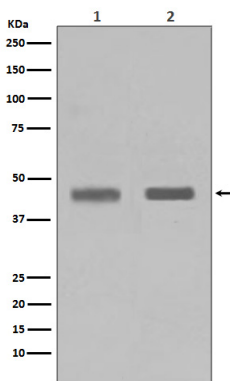
背景

ヒストン H3 の Lys-4 を特異的にモノメチル化するヒストンメチルトランスフェラーゼ。H3 の Lys-4 メチル化は、エピジェネティックな転写活性化のための特定のタグを表します。コラーゲナーゼやインスリンなどの遺伝子の転写活性化において中心的な役割を果たします。IPF1/PDX-1 によってインスリンプロモーターにリクルートされ、転写を活性化します。ヒストン H3 の Lys-4 を特異的にモノメチル化するヒストンメチルトランスフェラーゼ。H3 の Lys-4 メチル化は、エピジェネティックな転写活性化のための特定のタグを表します。コラーゲナーゼやインスリンなどの遺伝子の転写活性化において中心的な役割を果たします。IPF1/PDX-1 によってインスリンプロモーターにリクルートされ、転写を活性化します。また、基質タンパク質中の [KR]-[STA]-K を認識して結合することにより、p53/TP53、TAF10、そしておそらく TAF7 などの非ヒストンタンパク質に対してメチルトランスフェラーゼ活性を有する。TAF10 の Lys-189 をモノメチル化し、RNA ポリメラーゼ II に対する TAF10 の親和性を高める。p53/TP53 の Lys-372 をモノメチル化し、p53/TP53 を安定化させ、p53/TP53 を介した転写活性化を促進する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) HeLa 細胞溶解物中の SETD7 のウエスタンブロット分析。